

Weekly Report

2023-24年度
国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19
名錦ビル7F

TEL: 052-211-3803

FAX: 052-211-2623

MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp

URL: http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)1月10日

会長：千秋 季頼

幹事：本多 誠之

クラブ広報委員長：萩原 孝則

例会日：毎週木曜日PM12:30～

会場：ヒルトン名古屋

2023-24年度
名古屋瑞穂ロータリークラブ
会長のテーマ

「より楽しく、誇りある瑞穂ロータリークラブ」
～明るい未来に向けて、希望を生み出そう～

第2061回例会

～会員増強・新クラブ結成推進月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2023年8月24日(木) 晴 第7回例会

司会：西川徹也 会場委員

斉唱：「それでこそロータリー」「四つのテスト」

ゲスト：名古屋市立大学病院医学部附属 西部医療センター
口腔外科准教授 土持 師 先生

会長挨拶

千秋季頼会長

皆さん、こんにちは。今回はNHKの大河ドラマにちなんで、鎌倉時代の熱田神宮についてお話しをしました。今回は室町時代について触れて見たいと思います。室町時代といえば、足利氏が将軍家として治めていた時代です。

初代将軍は足利尊氏ですが、その祖先は源氏です。平安時代に東北遠征で活躍した、源義家の孫が源義康といまして、栃木の足利を拠点としたところから初代の足利家当主・足利義康となりました。その正室は、熱田神宮の大宮司家から出て、足利家第二代当主を生んでいます。

足利尊氏は、第二代当主の孫の孫の孫ですので、熱田神宮は足利家とも縁戚関係があったということです。熱田神宮の南側、鈴木淑久さんの蓬莱陣屋の北側に円福寺という時宗のお寺があります。ここは、足利家の一族とされる方が1319年に開基し、足利尊氏も祈願所を建立したそうです。

熱田神宮は、室町時代には、1419年と1458年に遷宮を行っていて、足利家から援助を受けています。銀閣を建てたことで有名な、第8代将軍足利義政は 表着や檜扇などの装束類や御神宝を、熱田神宮に奉納しています。これは今日まで伝わって、現在、重要文化財に指定されています。また、室町時代に架けられた石橋が、熱田神宮にあります。

場所は、安井副会長の宮さしめんさんの南側で、二十五丁橋といひます。

名古屋最古の石橋と言われていひます。元名古屋市指定文化財でした。花井さんのところの、お菓子の名前にもなっていますね。これは板石が25枚並んでいることから、そう呼ばれています。この橋は、名古屋を紹介する絵図や、甚句にも登場して、**「宮の熱田の二十五丁橋で西行法師が腰を掛け、東西南北見渡して、これほど涼しいこの宮をたれが熱田と名付けたか」**と読まれています。

大変暑い時期が続きましたが、確かにここは木陰で涼が取れる場所です。ちなみに、二十五丁橋のたもには、松御前の碑という、前回お話しした由良御前のお母さんで頼朝公のお祖母さんにあたります。長い間新城市の方にあり、草むらの中に埋もれていましたので、くさなぎ広場改修に合わせて、境内に移設いたしました。

草薙館の見学や宮さしめんさんで食事をとっていただき、その折にでも、二十五丁橋周辺を是非散策してみてください。神宮内を歩くと、こんなところにこんなものが、と思うものが、色々ありますので、今後もご紹介していきたいと思ひます。



出席報告

杉江建亮 出席委員

会員69名 出席46名 (出席計算人数56名)

出席率 71.88%

ニコボックス

杉江建亮 ニコボックス委員

- ・本日の卓話者の土持先生は私の医局のセンパイです。一部過激な画像があるかもしれません。皆様ご注意ください。 岡部 光邦さん
- ・昨日は岐阜の「かららや」さんに鮎料理を食べに行きました。今月いっぱい140年の歴史に幕を閉じるとの事ですので大変残念です。 鈴木 淑久さん
- ・荘川フェスティバルお疲れ様でした。カラオケ最高でした。 今川 知也さん
- ・先日は荘川高原フェスティバルに大勢の皆さんに参加いただきました。 泉 憲一さん
- ・熱田で都々逸の生演奏で盆踊りという素晴らしいイベントがありました。 萩原 孝則さん
- ・盆休みから、気持ちよく歌わせてもらう事が多く、皆さんにご迷惑をお掛けしました。 田中 宏さん
- ・残暑きびしいです。皆様お変わりありませんか？昨日、甲子園感動しました。 長谷川 隆さん

幹事報告

本多誠之幹事

- ・8/31(木) 親睦例会 18時～20時(17時30分～受付)
場所: THE TOWER HOTEL NAGOYA Lily
※駐車場はございません。
- ・9/7(木) 例会 12:30～ ヒルトン4F「竹の間」
13:40～ 長期ビジョン委員会 4F「梅の間」
- ・9/7(木) RAC例会 19:00～受付 19:30～
場所: ウィンクあいち1003
担当: 渡邊将之さん、岡部光邦さん

表彰



ポリオプラスソサエティー表彰: 近藤茂弘さん

委員会・同好会報告

親睦委員会

来週8月31日は夜間の親睦例会です。場所はテレビ塔内にあります。THE TOWER HOTEL NAGOYA Lily 17時30分～受付、18時開会となります。また、ホテル専用の駐車場はございませんので、お車でお越しの方はご注意ください。

麻雀同好会

本日、久しぶりにこの例会の後に開催しますので、ご参加の方は14時に名古屋駅に集合お願いします。本日初めてご参加の岡部さん、久しぶりの山口哲司さんなど新しいメンバーがどんどん増えております。皆さんも気軽に参加してください。よろしくお願ひいたします。

本日はうまくお話がまとまるかわかりませんが、なるべくわかりやすくお話させていただきたいと思います。

本日のテーマは、『被災地侵入禁止エリアにおける法歯学的災害支援』という事ですが、

実は被災地進入禁止エリアという言い方は福島のことなんですけれども、福島の中でも特にちょうど話題になっている汚染水排水の問題が出てきているんですが、そのことも入れようかと思ったんですが、あまりにもてんこ盛りになるので、割愛になるかと思いますが、福島の話をしていただきたいと思います。

もう10何年になるんですけど、皆さんはあの時どうされていたんでしょうか。この時、僕はオペ室に入っていました。いわゆる手術器具で无影灯というのがあるんですけども、影ができないように、いろいろなライトが集まって真ん中を照らすようになっていて、それが、シャンデリアのように患者さんの頭の上で揺れるぐらいの地震が起きていたという状況でした。

大規模災害の場合、どんなにボランティア精神を持って、応援に行くにしてもまず自らの責任で二次災害に合わないようにはいかなければならない。行くことで迷惑をかけてはいけないからです。そのため派遣(依頼する方にも)混んとした迷いがあったと思われま。

国の場合は、まず自衛隊ですが、次の関連する組織として医師会や歯科医師会、さらには日本赤十字病院や自治体病院そして各学会(救急医学会や災害医学会等)になります。派遣を依頼する側にも一抹の心配を抱えながら会員に依頼がなされたと思います。

私の場合、大学病院関係、(福島県立医大)、歯科医師会関係、(ただし私は勤務医会員)、名古屋市との姉妹都市関係(岩手県陸前高田)、そして法医学会関係が、かかわっておりました。ちなみにその当時の顎口腔顔面外傷学会や日本外傷歯学会は積極的に災害派遣の活動体制はできていなかったように思います。

今回は法医学会からの検死派遣依頼でした。岩手、宮城のような他の災害エリアと違い、福島の場合、放射線被爆のリスクがある地域への検死依頼です。今回私は、そこでの検死という機会を得て活動させていただいたので、その概要をスライドで報告させていただきます。福島ですが原子力発電所による放射線の被害もあり、後から後から出てくる情報に報道の信憑性に疑問を感じるものでした。

ちなみに私が活動した5月は1ヵ月半たって、交通が復旧したもののまだまだ停電も多く、何よりも(実際には大きな地震はなかったのですが)余震とその警報音で何度も起こされました。名古屋に帰ってからも余震警報のPTSDか夜間に何度か飛び起きたことがありました。

法歯学的というタイトルをつけましたが、実務においてはそのほとんどが、個人識別のための歯科的所見の記録照合です。スライドでは傷んだご遺体のもも示しますが、逆にこれを「ご家族」にお見せしていいかどうか迷うものもたくさんあります。

そういった点では検死による個人識別はそれなりの知識と経験を持った人が行わなければなりません。今回の検死



でも、ご遺体の中には、高度に腐乱したものの顔が部分的にしかないものもありました。ちなみに個人識別は総合的に行われ、顔を含め身体的特徴以外に所持品や場所、持ち物等から判断します。

ある例では、以前の検死記録から、新たにご家族が持ってきたカルテを照合するという活動もしました。その時の口腔所見は、よくある欠損歯式で口腔所見からだけでは、断定しがたいものがありました。

ちょうどその時、身体的特徴を他大学の法医学准教授が、「土持先生、このかたの既往歴に人工股関節の手術既往ありますよ。背中の写真ズームアップしてみてください」と言って(人工股関節の)手術痕をみつけ、と口腔所見から、合わせ技で個人識別に至ったケースもあり、総合的に判断するいい経験をさせていただきました。もちろん最終的には最も確実な身体的所見は口腔所見になります。

ご家族への説明も神経を使います。「このご遺体があなただのご家族です」というのは、死刑判決につながるようなショックを与えることになるかもしれません。しかし、ある面「はっきりわかってよかった」と言われる部分もあります。いずれにせよ。我々はつらい現実には直視しなければいけませんし、事実を確認、報告することが重要です。

実際には現場では通常警察からご家族に連絡がいき、説明がなされます。ですが、警察も手いっぱい、「検死に見えた先生から(ご家族に)直接説明をお願いします。」と言われて、我々が直接ご家族にそれぞれの所見を述べて「お亡くなりになられたこのご遺体は最終的に〇〇さんと確認されました」と宣告したこともあります。そういった点では、ある面臨床とは違った現場になります。またエリアも居住者以外立ち入り禁止区域ですので、ご家族(遺族)も遠慮しながら検死結果の掲示板を寂しそうに見ている姿がありました。

我々が検死した後のご遺体も、すぐ翌日には棺桶に入った状態で、保存され、掲示板に特徴的な所見(持ち物、服装、わかるものは顔貌写真)が掲示されていました。これは警察や自治体の寸暇を惜しむ活動であり、検死結果を少しでも早く公表しご遺族が見つかるように、なされたものでした。

私も故人の遺族探しの資料を作る活動に協力できたことを誇りに思っています。

例会のご案内

■今 週 8月31日(木) 親睦例会

時 間：18:00~20:30 (17:30 受付開始)

場 所：THE TOWER HOTEL NAGOYA Lily

■次 週 9月7日(木)

卓話者：名古屋城調査研究センター 主査 原史彦さん
テーマ：熱田浜御殿の歴史

時 間：12:30~13:30

場 所：ヒルトン名古屋4F「竹の間」

■次々週 9月14日(木) ガバナー補佐訪問

時 間：12:30~13:30

場 所：ヒルトン名古屋4F「竹の間」